

P-G-1

新しい温熱療法としての低温岩盤浴治療の有用性 - 特にがん治療における効果について - 第2報

Usefulness of mild-temperature bed-rock-bath as a new hyperthermia therapy
- Concerning the effects especially in advanced cancer remedying –Second Report-

篠崎 洋二¹⁾, 上者 郁夫²⁾, 佐野 俊二³⁾

1) 医療法人 篠洋会 篠崎クリニック, 2) 岡山大学大学院保健学研究科

3) 岡山大学大学院医歯薬総合研究科 心臓血管外科

In the 10th Japanese society for complementary and alternative medicine of last year, bed-rock-bath of mild-hyperthermia(36-39℃) can be safely adopted to the far senior and sick patients who hold serious sickness such as cardio-vascular diseases, and malignant diseases.

This new concept of therapy was effective as an adjuvant therapy as well as an independent therapy for the advance cancer. This time, we are to report of long-term prognosis of the patient furthermore, and of therapeutic evaluation of new cases of the bed-rock-bath therapy of mild-hyperthermia.

Of the 15 patient with advanced cancer, with proper, consistent therapy, CR 2, PR 6, MR 2, NC 1 and PD 4 as for now.

【目的】

昨年 の第10回補完代替医療学会において、低温岩盤浴は高齢者や心不全などの重篤な病気を抱えた病人にも安全に適応でき、更に進行癌の単独および補助療法として有益であることを示した。今回、我々はその後の患者の長期予後と新しい症例の治療成績について検討を加え報告する。

【方法】

高齢者を含む25例の悪性腫瘍患者を対象とし、このうち治療の継続できた、進行癌患者15例について検討をおこなった。青龍石、麦飯石の2種類の岩盤をもちいて、正確な温度コントロール可能な岩盤ベッドを用い、36～39℃の低温岩盤浴を原則として、毎日施行し、進行癌に対する効果をCT、MRIを用いて判定した。

【結果】

転移の存在する進行がん症例15例中2例において、CT及びPET-CT上腫瘍が消失し(CR), PR 6例, MR 2例, NC 1例, PD 4例であった。またPD症例においても疼痛の改善が認められた。しかし癌性の胸腹水を伴う進行癌および脳転移例において、有効例はなかった。

【結論】

青龍石や麦飯石等の適切な岩盤を選べば低温岩盤浴はほとんどすべてのヒトに適応可能であり、進行癌に対する良好な単独および補助療法として有効性が認められた。今後、代替医療における癌の温熱療法として有力な方法になりうると考えられる。